

経営比較分析表（令和5年度決算）

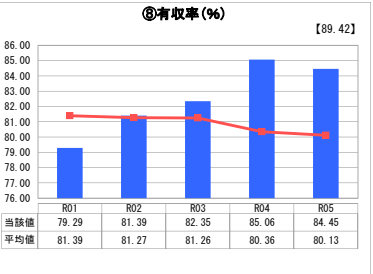
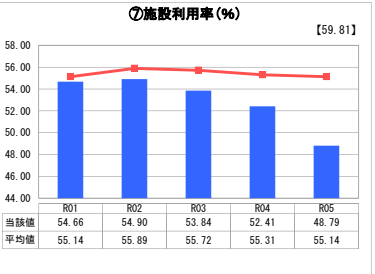
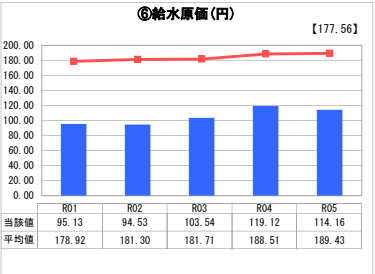
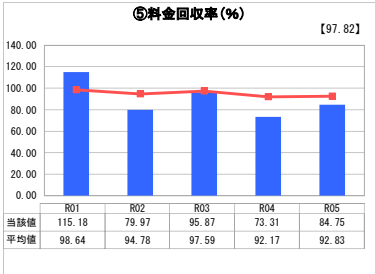
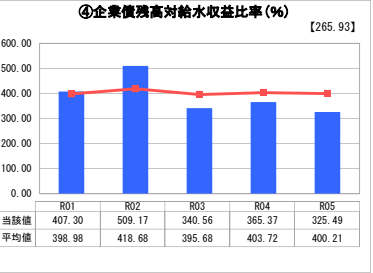
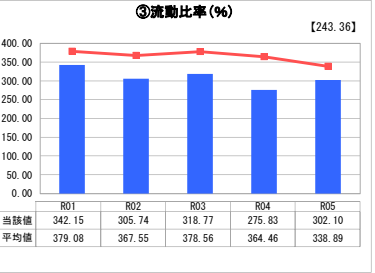
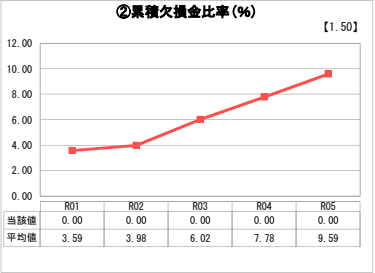
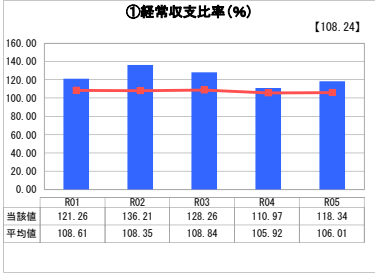
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり重産料金(円)	
-	75.25	99.66	2,255	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,900	94.43	189.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,693	76.60	230.98

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、単年度収益で黒字を確保し、類似団体平均値も上回っています。⑤ 料金回収率は100%を下回っていますが、物価高騰対策事業として水道料金基本料等を4ヶ月分減免したことによるものであり、補填分を営業外収益の他会計補助金として受け入れています。ただし類似団体平均値を下回っているため、経営戦略の見直しを図るとともに料金改定の検討を行っていきます。

③ 流動比率は類似団体平均値は下回っているものの、前年度比26.3%増となり理想比率200%を上回る水準にあります。

④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っていますが、企業債残高は償還進捗により年々減少していますが、今後、管路更新等を行う場合は計画的に新規借入を行っていきます。

⑥ 給水原価は類似団体平均値を大きく下回っていますが、今後の大規模な施設更新等を視野に入れた経営戦略の見直しを図り、更なる経営改善を行っていきます。

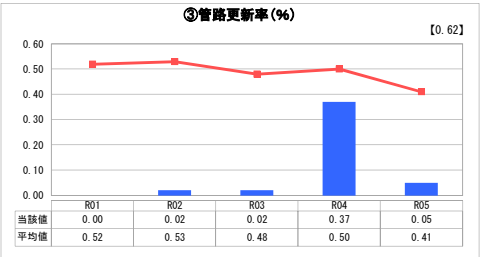
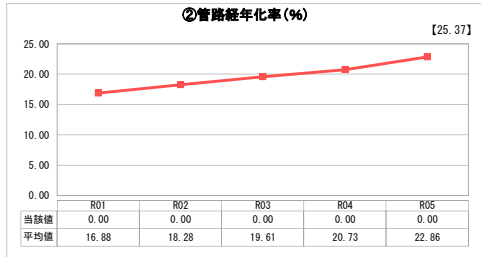
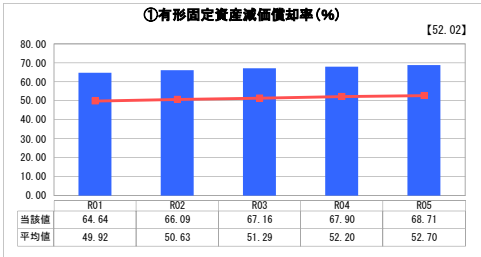
⑦ 施設利用率は前年度と比較し微減となりましたが、施設規模に対して大幅な余裕があり、安定的な運転管理ができています。

⑧ 有収率は前年度と比較して微減しましたが、類似団体平均値は大きく上回っています。現在も実施している漏水調査業務を今後も継続し、更なる有収率向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は65%を上回っており管路・施設の老朽化が進行しています。また、類似団体平均値についても上回っています。後は設備等の更新を適切に行っていくと共に更新後の施設維持に見合った供給単価を設定することで財源確保にも努めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在の経営状況は、現状では安定的な経営が維持されていますが、後は人口減少等による給水収益の減少や、施設の老朽化による修繕費の増加が予想されます。計画的な施設等更新の実施を行っていくと共に、令和2年度に策定した上水道事業経営戦略の改定を行い、本事業における資金状況を明らかにし、適正な料金算定を行うことで経営健全化、事業効率化を進めていきます。また、経営状況を可視化し、住民への周知及び理解をより一層図ります。